

高松市合流式下水道緊急改善計画

(平成24年7月)

目的

合流式下水道では、雨天時に汚水の一部が雨水吐室及びポンプ場放流口から未処理下水が公共用水域に放流されているため、環境に悪影響を与えている。

高松市では、平成16年度に本市の中心市街地約875haを対象に「合流式下水道緊急改善計画」を策定し、鋭意、事業継続中である。一方、国土交通省は、平成19年度に合流式下水道緊急改善事業制度の拡充を行い、平成25年度までに所要の合流式改善対策を実施することを義務付けており、平成16年度に策定済の「合流式下水道緊急改善計画」を「効率的な合流式下水道緊急改善計画の手引き(案)」に基づき計画の見直しを行った。

本計画のとりまとめに際しては、広く市民の意見を聞くため、合流式下水道緊急改善事業アドバイザー会議メンバー(広島大学大学院:河原教授ほか2名)の意見を考慮し、計画をとりまとめたところである。

現状, 改善, 効果の説明

現状

雨天時に雨水吐室及びポンプ場放流口から未処理下水道が公共用水域に放流されているため、悪臭が発生し、水質が悪化している。

改善

1. 分流式下水道並みの汚濁負荷量に削減
2. 未処理下水の放流回数を半減
3. 夾雑物の流出を削減

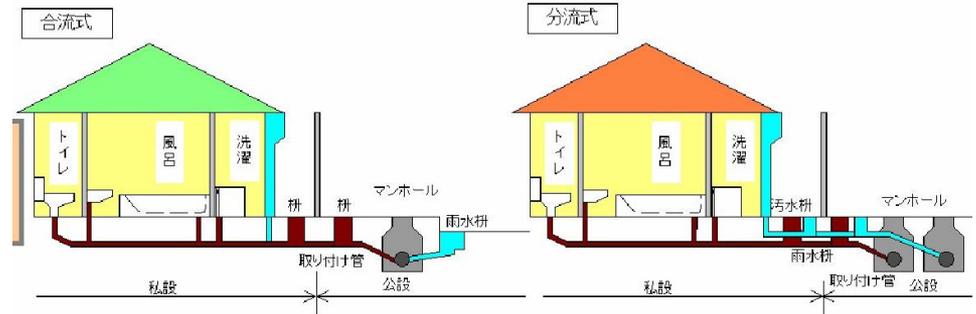
効果

本計画を実施することにより、改善目標を達成することができる。

現状

高松市の下水排除方式

高松市は合流式と分流式を採用
→合流区域は昭和30年代に建設。雨水+汚水の同時処理を目的としていた。



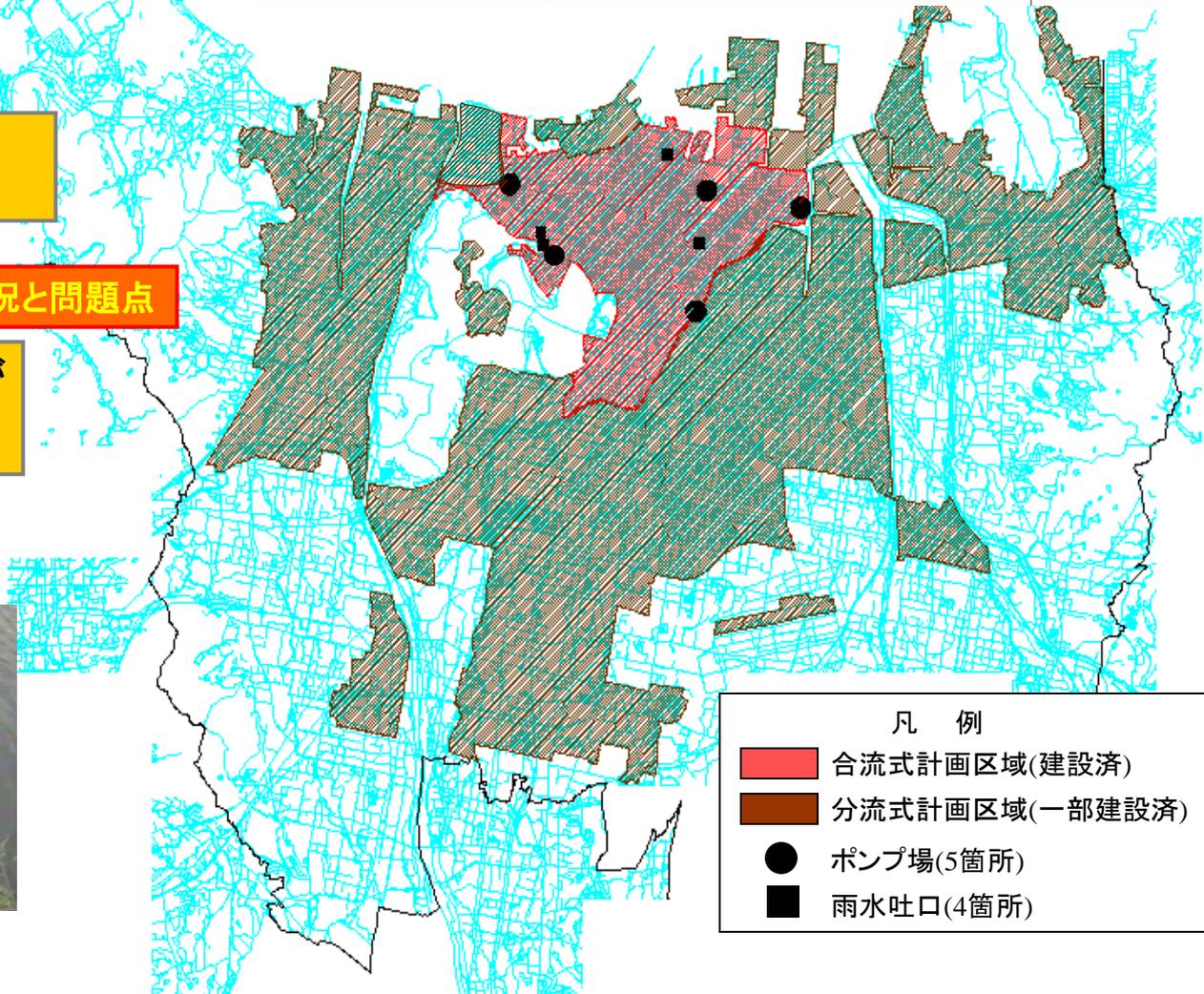
高松市の合流式下水道区域

雨天時には、9箇所のポンプ場及び
雨水吐室から未処理下水が放流

合流式下水道の雨天時放流状況と問題点

雨天時には、高濃度の未処理下水が
放流されている
→公衆衛生上極めて問題

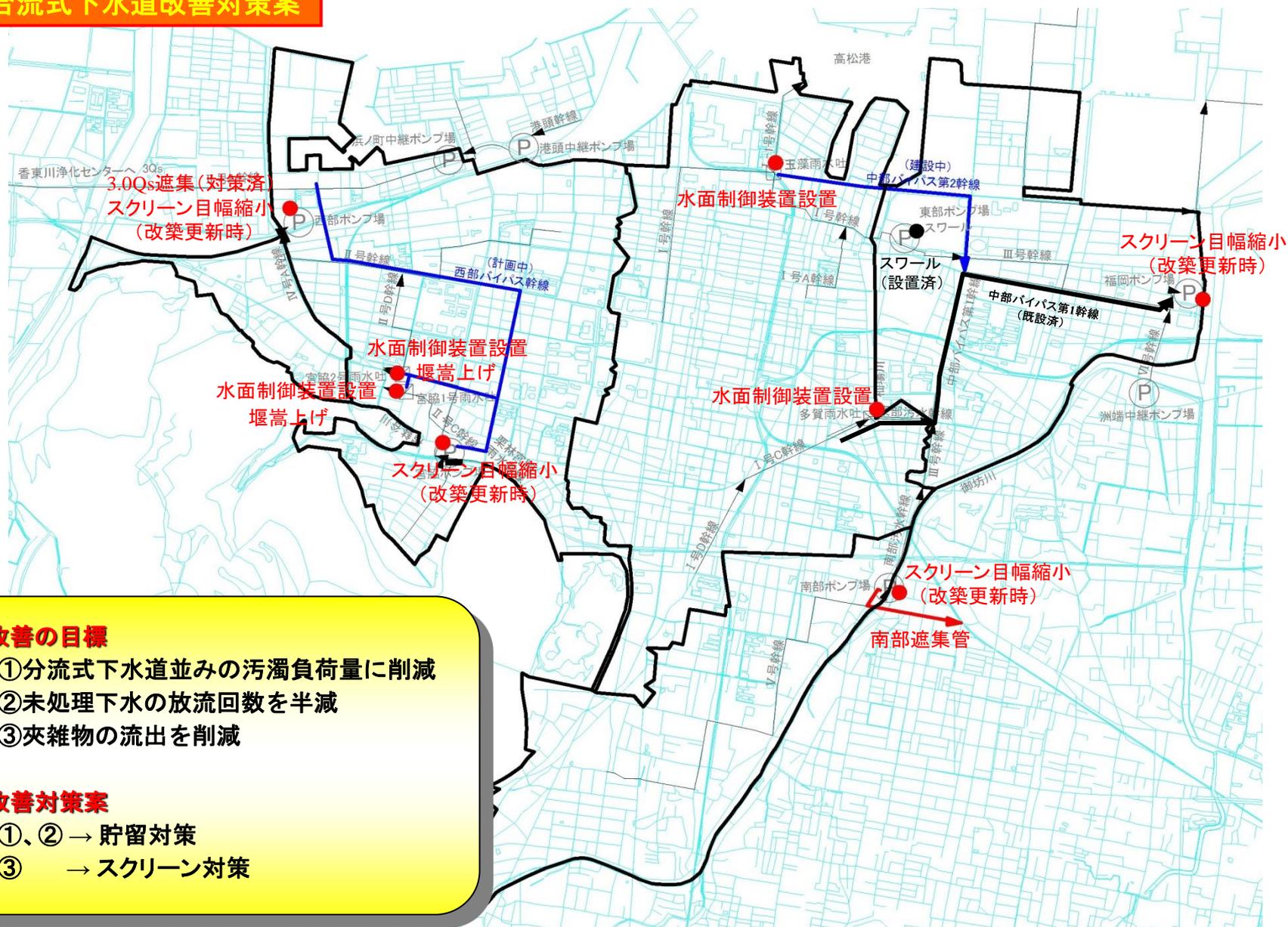
未処理汚水の放流状況



- 凡 例
- 合流式計画区域(建設済)
 - 分流式計画区域(一部建設済)
 - ポンプ場(5箇所)
 - 雨水吐口(4箇所)

改善

合流式下水道改善対策案

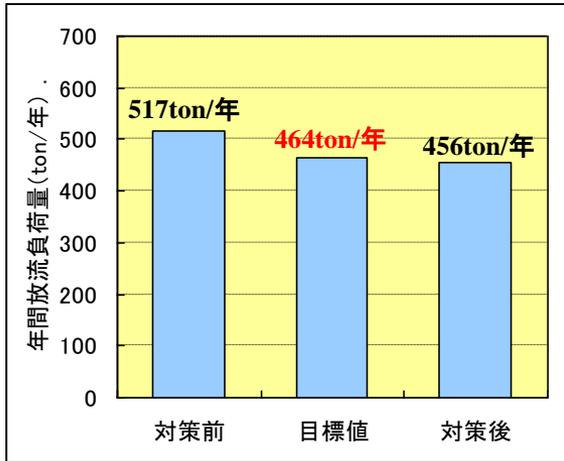


効果

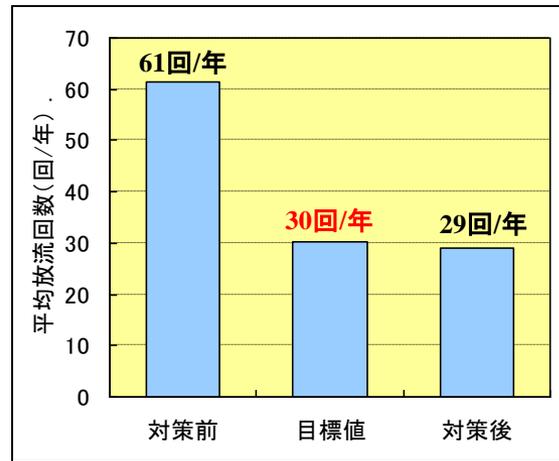
対策効果

本計画を実施することにより、改善目標を達成することができる。

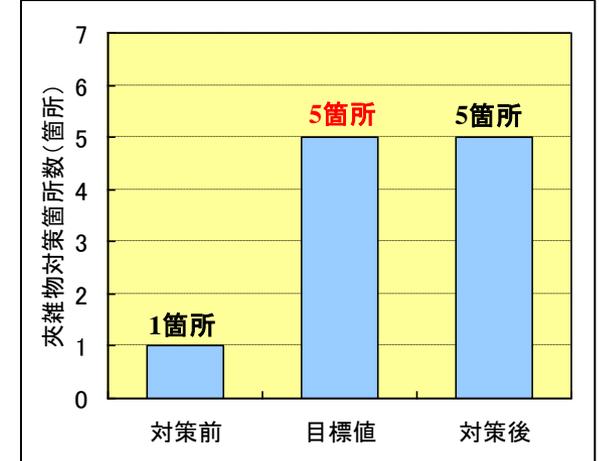
汚濁負荷量の削減



放流回数の半減

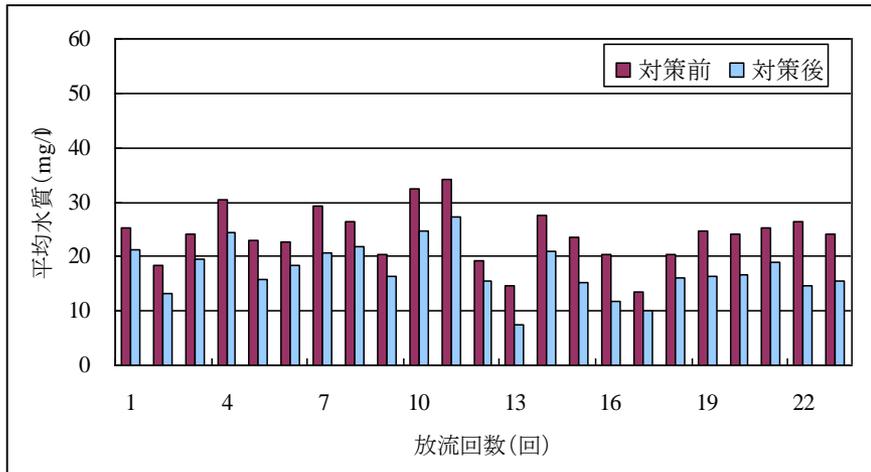


夾雑物の削減



放流水質

東部処理区



西部処理区

